

1. 略歴

| | |
|----------|--|
| 2000年4月 | 東京大学教養学部文科Ⅲ類 入学 |
| 2002年4月 | 東京大学文学部思想文化学科宗教学宗教学専修課程 進学 |
| 2004年3月 | 東京大学文学部思想文化学科宗教学宗教学専修課程 卒業 |
| 2004年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教学専門分野修士課程 入学 |
| 2007年3月 | 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教学専門分野修士課程 修了 |
| 2007年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教学専門分野博士課程 進学 |
| 2009年4月 | 日本学術振興会特別研究員 (DC2) (東京大学、～2011年3月) |
| 2010年6月 | サントル・セーヴルーパリー・イエズス会神学部 (日本学術振興会優秀若手研究者海外派遣事業 (第二回) による海外派遣、～2011年3月) |
| 2011年9月 | フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) 博士課程 入学 |
| 2011年9月 | フランス政府給費留学生 (フランス国立社会科学高等研究院、～2013年7月) |
| 2012年7月 | 東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教学専門分野博士課程 単位取得退学 |
| 2012年8月 | 東京大学大学院次世代人文学開発センター研究員 (～2013年3月) |
| 2014年4月 | 天理大学人間学部宗教学科 専任講師 |
| 2014年11月 | 博士 (文学)、東京大学 |
| 2015年4月 | フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS) 博士課程 退学 |
| 2019年4月 | 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 |

2. 主な研究活動

a 専門分野

宗教史・靈性史、神秘主義、現代宗教思想・宗教哲学

17世紀フランスを中心に、近世西欧カトリック圏に興隆した「神秘主義 (la mystique)」と呼ばれる思想潮流を研究している。①西洋の靈性史を広く見渡しつつ近世神秘主義文献を吟味することを軸として、②近代的な神秘主義論の問い直しと「神秘主義」の思想史的再定位、③近現代宗教思想と神秘主義の接点をテーマに研究を進めている。

b 研究課題

(1) 近世西欧神秘主義研究

17世紀フランス神秘主義、ジャン＝ジョゼフ・スュラン研究を軸としながら、同時代に輩出した神秘家・靈性家たちのテキスト解釈を通じてその思想的ダイナミズムを掬いあげること。(2)や(3)のテーマとの関連を意識し、とくに言語、信仰、経験、身体といった鍵概念を焦点として近世神秘主義の思想史的射程を明らかにすること。

(2) 「神秘主義」の思想史的再定位

19世紀以降宗教学の重要概念となった「神秘主義 (mysticism)」の歴史性を検討し、近代神秘主義論を相対化すること。また、「神秘」をめぐる思想や実践の変遷を西洋古代以降の靈性史に内在しつつ辿り、系譜学的観点から神秘主義という知のありかたを立体的に捉えるとともに、狭義のキリスト教神学や靈性に留まらない思想史のなかに神秘主義を再定位すること。

(3) 近現代宗教思想と神秘主義の接点 (脱近代主義的な宗教論の探究)

「宗教離れ」や「神の死」が叫ばれる近現代にあって、宗教や信仰の条件をラディカルに問いなおす思想がしばしば神秘主義と接点をもつことを論点化し、神秘主義を「他なるもの」を語ろうとする知として捉えなおすこと。より具体的には、現代的な神秘主義研究の出発点となったミシェル・ド・セルトーのテキストをポスト近代の宗教論として解釈すること。また、近代日本に発生した民衆宗教思想 (天理教) を脱近代主義的な観点から再解釈すること。

c 概要と自己評価

博士論文以来の研究課題である(1)については、スュランや十字架のヨハネに関して継続している研究成果を書籍や論文として発表した。フランス文学研究やキリスト教教父研究の専門家が集う場での発表を通じて研究ネットワークを広げるとともに、本研究の領域横断的なインパクトを確かめることができた。近年着手した(2)については、2021年より5年間の科研費 (若手研究) の課題としても採択され、より長期的な見通しの下に研究を行っている。パウロやアウグスティヌスをはじめ、古代・中世のキリスト教思想にも踏み込み、今後の研究の土台となる成果を論文にまとめた。また、神秘主義の系譜を概観する単著を執筆中である。(3)については、セルトーの宗教思想をめぐる研究成果を書籍や論文と

して発表したほか、セルトーの著書の翻訳書を刊行に向けて準備中である。(2)や(3)の研究を進めるなかで、ジェンダー・セクシュアリティ研究の文脈での神秘主義の思想的可能性も明らかになってきている。また、天理教の奥義といわれる「泥海古記」についても論文としてまとめた成果を発表した。

d 主要業績

(1) 著書

共著、伊藤邦武・山内志朗・中島隆博・納富信留編、『世界哲学史 5』（第2章「西洋近世の神秘主義」）、筑摩書房、2020.5

共著、川口茂雄・越門勝彦・三宅岳史編、『現代フランス哲学入門』（「セルトー」）、ミネルヴァ書房、2020.7

共著、伊達聖伸・アブデヌール・ビダール編、『世俗の彼方のスピリチュアリティ—フランスのイスラム哲学者との対話』（第II部第3章「キリスト教の破碎／燦めき—現代カトリックの危機とミシェル・ド・セルトー」）、東京大学出版会、2021.12

(2) 論文

渡辺優、「神秘主義の知のありか」、『文化交流研究』、33、43-63頁、2020.3

渡辺優、「魂の根底の溶解？—中世北方神秘思想と近世フランス神秘主義のあいだ（2）」、『東京大学宗教学年報』、37、1-17頁、2020.3

渡辺優、「暗夜の信仰の近世— 一七世紀フランス神秘主義における十字架のヨハネ解釈の諸相」、『宗教研究』、94(1)、49-73頁、2020.6

渡辺優、「「泥海古記」の想像力」、『天理大学学報』、72(2)、21-50頁、2021.2

渡辺優、「もうひとつの原典—「泥海古記」を読みなおすために」、『「原典」—教えの豊かさを汲み取るために—（2021年度天理大学学術・研究・教育活動助成 教理研究会報告書）』、13-36頁、2022.2

渡辺優、「スュランにおけるパウロ研究序説—『パウロの神秘論』の風を受けて」、『パトリスティカ』、25、151-163頁、2022.3

(3) 書評

村上寛、『鏡・意志・魂：ポレートと呼ばれるマルグリットとその思想』、晃洋書房、『宗教研究』、94(2)、355-362頁、2020.9

御園敬介、『ジャンセニスム 生成する異端』、慶應義塾大学出版会、『宗教研究』、95(3)、704-710頁、2021.12

(4) 解説

渡辺優、「日常実践という大海の浜辺を歩く者—ミシェル・ド・セルトーと「場」の思考」、『日常実践のポイエティック（ちくま学芸文庫）』、2021.3

(5) 学会発表

国内、渡辺優、「ミシェル・ド・セルトーそして／あるいはポスト世俗主義の宗教論—探究の今日的可能性」、科学研究費補助金（基盤A）「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成—学際的比較研究」A班第1回研究会、オンライン、2020.7.25

国内、渡辺優、「キエティスム論争再訪」、日本宗教学会第79回学術大会、駒澤大学（オンライン）、2020.9.19

国内、渡辺優、「天理教における正典化をめぐる」、科研挑戦的研究（開拓）「諸宗教における正典化をテーマとする、比較宗教教典研究の立ち上げのための総合的研究」第8回研究会、北海道大学（オンライン）、2021.5.21

国内、渡辺優、「神秘主義と愛知—世界哲学史と神秘主義研究の接点を求めて」、連続シンポジウム「世界哲学・世界哲学史を再考する」第4回「中世と近世のあわい」、東京大学（オンライン）、2021.5.31

国内、渡辺優、「スュランにおけるパウロ『パウロの神秘論』の風を受けて」、第173回教父研究会、オンライン、2021.6.19

国内、渡辺優、「近世神秘主義の「経験」概念をめぐる—ジャン=ジョゼフ・スュラン『経験の学知』（1663年）を中心に」、「フランス近世の〈知脈〉」第8回研究会、大阪大学（オンライン）、2021.9.10

国内、渡辺優、「近世神秘主義の「経験」論の射程—「身体の詩学」のためのスケッチ」、龍谷大学国際社会文化研究所2021プロジェクト研究会、オンライン、2021.9.14

国内、渡辺優、「スュランにおけるパウロ—近世神秘主義における身体の詩学の一断面」、教父研究会第175回研究会、オンライン、2021.12.4

国内、渡辺優、「近現代西欧カトリックの危機と「神秘主義」あるいは「スピリチュアリティ」のゆくえ—世俗／宗教のあわい—こうごめくもの」、科学研究費補助金（基盤A）「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成—学際的比較研究」A班第4回研究会、オンライン、2021.12.28

国際、渡辺優、「コメント（シリーズ・ペロー「近年のフランスにおける宗教状況の変容」に対する）」、「フランスにおける宗教的状況の特殊性」、科学研究費補助金（基盤 A）「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成——学際的比較研究」（主催、東京大学東アジア藝文書院（共催）、オンライン、2022.3.1

(6) **共同研究・受託研究**

共同研究、龍谷大学国際社会文化研究所、「宗教概念批判以降の宗教研究に基づく人間性の探究」（研究代表者：古荘匡義）、2021～

3. 主な社会活動

(1) **他機関での講義等**

天理大学大学院宗教文化研究科非常勤講師、2019.4～

(2) **学会**

国内、日本宗教学会、評議員、2019.9～